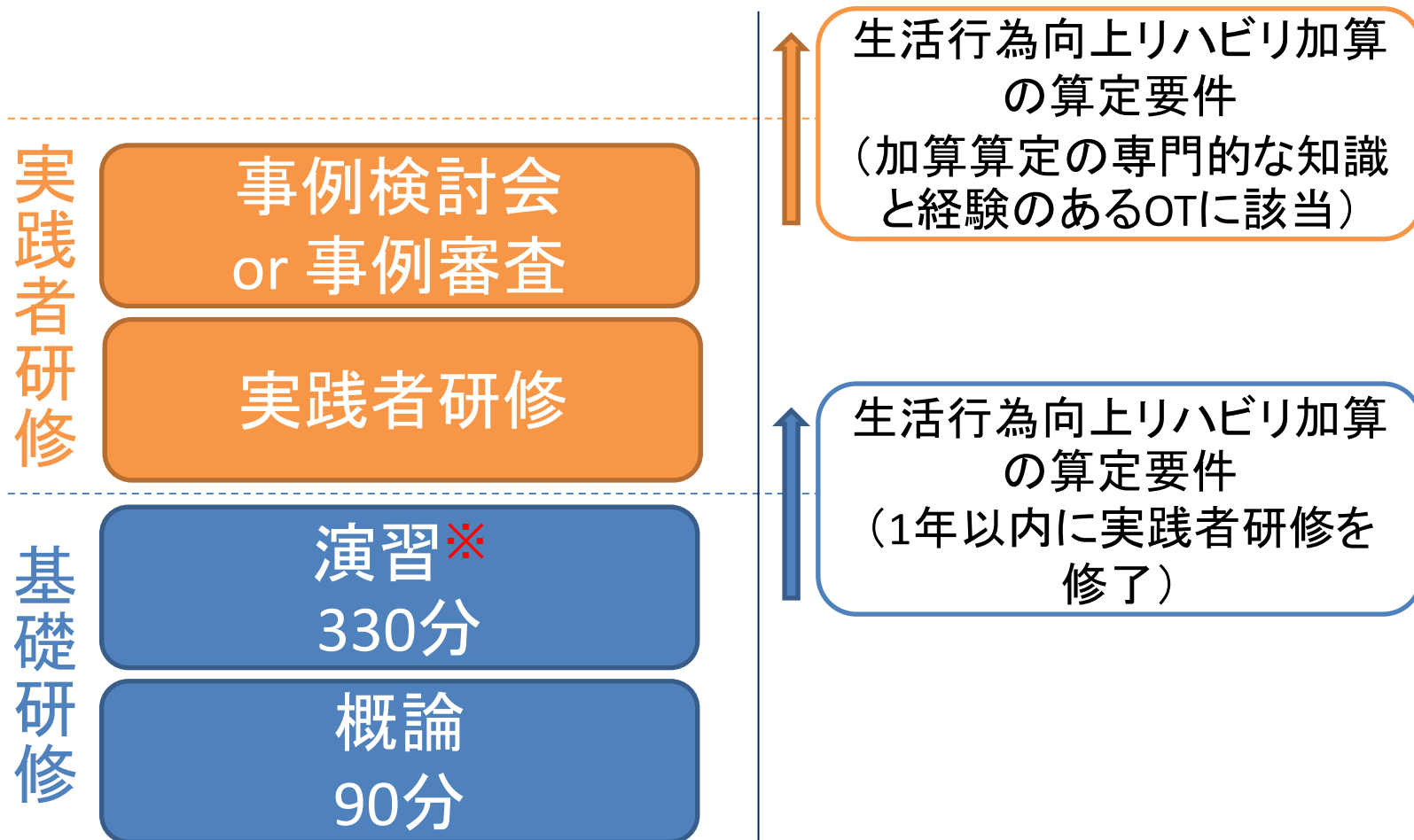


宮城県作業療法士会における 生活行為向上マネジメント(MTDLP) の研修会について

～平成26年年度に実施された研修会の取り扱いおよび
修了の要件、今後の研修予定について～

生活行為向上マネジメント推進委員
大内 義隆

MTDLP研修修了の主な要件 および 生活行為向上リハビリ加算算定要件



※ 平成26年に実施された演習(基礎研修)については、基礎研修2(演習)および研修3(事例報告に向けて)の内容を含めます。なお各要件の詳細については、日本作業療法士協会の示す基準等をご確認ください(最終項の資料参照)。

平成26年度宮城県OT士会主催の MTDLP研修内容の内訳

開催日	場所	概論 研修時間	演習 研修時間
9月20日	東北保健医療専門学校	90分	90分
12月 7日	仙台市市民活動 サポートセンター	90分	90分
3月15日	東北福祉大学 感性福祉研究所	90分	270分

補足事項

1. 基礎研修修了の要件については、上記の研修の積算でも可能(次項参照)。
2. 平成25年以前に行われたブロック毎の研修会などについては、日本作業療法士協会指定のプログラムとは異なるため、基礎研修の内容には含まれません。
3. 日本作業療法士協会主催の研修会については、基礎研修を満たす内容であれば、基礎研修修了書が発行されます。

複数研修会の積算の例

	内容	平成26年 9月20日	平成26年 12月7日	平成27年 3月15日	小計	基礎研修
A	概論	90分	不参加	90分	達成 (90分以上)	基礎研修修了*
	演習	90分	不参加	270分	達成 (330分以上)	
B	概論	不参加	90分	不参加	達成 (90分以上)	未達 (<u>演習240分以上</u> の補講が必要)
	演習	不参加	90分	不参加	未達 (90分/330分)	
C	概論	不参加	不参加	90分	達成 (90分以上)	修了 (<u>演習60分以上</u> の補講が必要)
	演習	不参加	不参加	270分	未達 (270分/330分)	

補足事項

1. 日本作業療法士協会員かつ宮城県作業療法士会員の方には、日本作業療法士協会より修了書が発行されます。
2. 演習分の不足については、補講として、今年度に行われる研修に参加することで基礎研修の要件を満たすことが可能です。

平成27年度宮城県OT士会主催による MTDLP研修会の予定

開催日時	場所	基礎研修		実践者研修
		基礎1 (概論)	基礎2, 3 (演習等)	事例検討
9月29日 19時～20時半	太白区中央市民 センター	90分	-	-
10月18日 10時～16時半	東北福祉大学 感性福祉研究所	-	330分	-
11月	未定	-	-	90分
12月	未定	-	330分	-
1月	未定	-	-	90分

補足事項

1. 基礎研修1(概論)については、上記以外に、ブロック毎の開催希望の有無について、各ブロック推進委員(ブロック長)へ案内をしております。
2. 事例検討会の参加者(発表者以外)は、各発表を通して演習シートに記入等を行うことで、基礎研修2,3(演習の補講:60分)としてみなす。

事例検討会

例) 時間の目安: 90分程度

内容	時間配分	予定時間
事例発表＋質疑	7分×5名	35分
グループ討議	35分×5グループ	35分
グループ討議の発表	3分×5グループ	15分
まとめ		5分

補足事項

1. 一事例当たりの所要時間は45分を標準とする(都道府県士会共通基準)。
2. 事例検討会の参加者(発表者以外)は、各発表を通して演習シートに記入等を行うことで、基礎研修(演習の補講:60分)としてみなす。

参考資料

生活行為向上推進リーダー養成研修 と 生活行為向上リハビリテーション加算要件

生活行為向上
マネジメント
実践者研修
修了

基礎研修修了者であっ
て、以下いずれか、

- 1事例協会事例報告
- 1事例発表

生活行為向上
マネジメント
基礎研修
修了

事例審査

事例報告 → 事例発表 → 事例検討会 → 事例審査

事例検討会

- ◎各士会等で事例検討会（1事例45分、参加者による発表者課題ディスカッション、熟練者等による指導、事例数によって検討会を柔軟に実施）
- ◎事例報告への指導や意見交換

事例発表

●生活行為向上マネジメント 実践者研修（27時間）

実践者研修 2	実 習 各自の職場	1,500分	①聞き取りアセスメント・プラン(240分) ②実施1回 記録含め45分×24回（1080分） ③申し送り考察・報告まとめ(180分)
実践者研修 1	事例報告 の手引き	120分	H26プロジェクト委員作成57ページ 事例報告の手引きに沿った自習
	計	1,620分	

**生活行為向上
リハビリテーション加算**

現在概ね 350人
生活行為向上リハ加算算定の
専門的な知識と経験のある
作業療法士に該当

条件:1年以内
に実践者研修を
修了すること

●生活行為向上マネジメント 基礎研修(7時間)

基礎研修 3	事例報告 にむけて	30分	・生活行為向上マネジメント研修体系の説明 ・事例報告に向けた考え方・取り組み方法
基礎研修 2	演 習	300分	①演習事例紹介(30分) ②グループワーク生活行為聞き取り演習(30分) ③生活行為アセスメント演習(120分) ④生活行為向上プラン演習(90分) ⑤申し送りノート書き込み方法説明活用(30分)
基礎研修 1	概 論	90分	・生活行為向上マネジメントの背景 ・生活行為向上マネジメントとは ・これまでの研究など
	計	420分	

◎都道府県主催研修会 1日研修スタイル
例) 9:00開始 17:00終了

**生活行為向上
リハビリテーション加算
算定 ライン**

現在概ね
1,500~2,000人
生活行為向上リハ加算算定の
専門的な知識と経験のある
作業療法士に該当